

認定市民活動団体・地域まちづくり交流会 結果概要

日時 平成 29 年 6 月 19 日（月）13 時～
場所 茂原市役所 5 階 502 会議室
参加者 11 名

【当日の内容】

1. 事例発表・活動報告

2. フューチャーセッション「ぼくらの市民活動支援センター」

- (1) イントロダクション
- (2) ブレインストーミング
- (3) クイックプロトタイピング
- (4) 発表&ふりかえり

【ブレインストーミングの主な内容】※順不同、（ ）内は同意見数

現状

- 高齢化
- 自分の殻に閉じこもる
- ボランティアの人数が足りない
- 50 代・60 代の協力が必要
- 参加者の固定化
- 会員数が増えない、人が集まらない
- セミナーを実施しても集客に苦労している
- 市民の本当のニーズの把握が不足している
- 知恵と意欲とリーダーシップのある人間の不足
- 宣伝広告範囲の拡大が必要（近隣地域以外）
- 公共施設の Wi-Fi が使えない
- 家族が無関心
- 市民活動団体の横のつながりと問題の共有ができていない(2)
- 他団体の活動内容や実態を知らない
- 積極的な活動ができていない
- 事務処理能力が不足
- 広く知ってもらう手立てがない
- 市民活動の PR の場が少ない

- 資金不足(5)
- 活動する場所がない(3)
- 駐車場不足
- 市役所窓口の対応が不親切・協力不足
- サービス利用者に届かない(3)
- 情報が伝わりにくい
- 団体に対する情報提供の機会が少ない
- 障害者についての知識が足りない

ありたい姿

- 参加者が楽しく元気に活動できる(2)
- 参加者の笑顔が見れる
- 若い人が下支えしてくれる
- 若い人に早くバトンタッチできる
- 会員が増える(2)
- 意欲のある人たちの情報を得る
- 苦心した成果物を利用者に活用してもらう
- 年1回の市民活動フェスティバル
- 定期的な活動とサポート要請
- 信頼できる運営組織
- 市民や企業の寄附で運営する
- スポンサーを増やす
- ボランティアの有料化
- 十分な活動資金
- 活動できる場所がある
- 公共施設のWi-Fiが利用可能
- 活動のための情報がワンストップで分かる
- 必要な情報が手に入る
- 活動に関心を持ってもらうための研修・養成講座の実施
- 市民活動について中学生の頃から勉強
- 広報活動の実践的な普及
- 広報もばらに市民活動の状況を掲載

課題

- 資金の獲得(2)
- 資金調達的手段
- 有償ボランティア化
- 作業スペースの確保

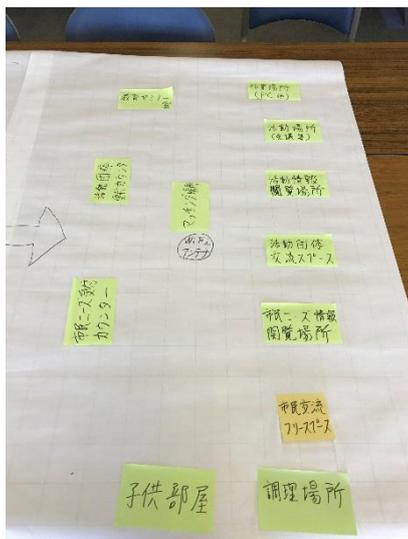
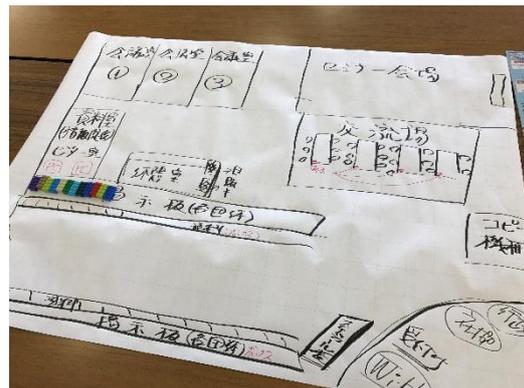
- 人材の勧誘
- 若い会員の確保
- 意欲ある人間の発掘
- 価値観の相違
- ボランティア活動提供の方法
- サービス利用者の情報
- 行政の支援をどう得るか
- 市民活動に対しての行政のアピール不足
- 市民への情報提供
- 市民ニーズの優先順位の把握
- ボランティアに対する市民の認識不足

欲しいリソース（人材・資金・手法等）

- 市からの補助金
- 活動資金
- 資金調達手段についての情報
- 小・中学生レベルでボランティア活動について教育の一環として夏休みの課題とする（内申書）
- 活動を支えるための予算
- 市民や企業の寄附への関心
- 意欲・能力ある人材(2)
- 市役所職員の参加と応援
- 外の活発な活動は市の若い職員が担う。中の事務は年配者がまとめる
- 茂原市外での成功例の紹介とスキルサポート
- 定期的な情報交換と現場密着型のフォロー
- 市での空き家バンク
- 住民同士のサポート（子育て中の若い人と年配者の協力関係）
- 有償ボランティア化
- 活動場所（作業・情報共有）
- Wi-Fi 環境の整備
- 子育て支援活動に対する資金
- 会員（活動する側）・利用者（受ける側）双方の集め方
- ワンストップで市民活動団体の支援ができるセンターの設置

3. ブレインストーミング・クイックプロトタイピングの様子

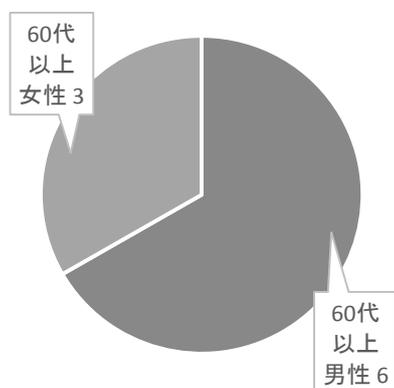
3つの班に分かれて、現状とありたい姿、課題と欲しいリソース（人材・資金・手法等）について、ブレインストーミングの手法を用いて話し合った後、市民活動支援センターの未来像について即興で組み立てる「クイックプロトタイピング」を行いました。



4. 参加者アンケート結果（回答数9件）

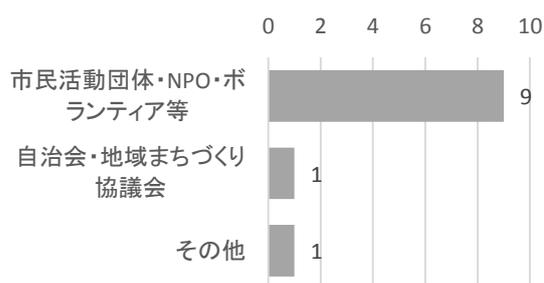
(1) 性別・年齢

回答のあった方全員が60代以上でした。



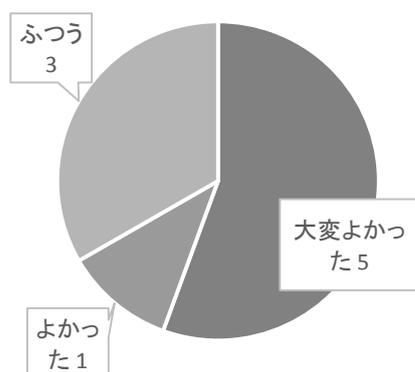
(2) 所属（複数回答）

複数回答としたため、1人で複数の団体に属している方から回答があり、回答総数が参加人数を超える結果となっています。

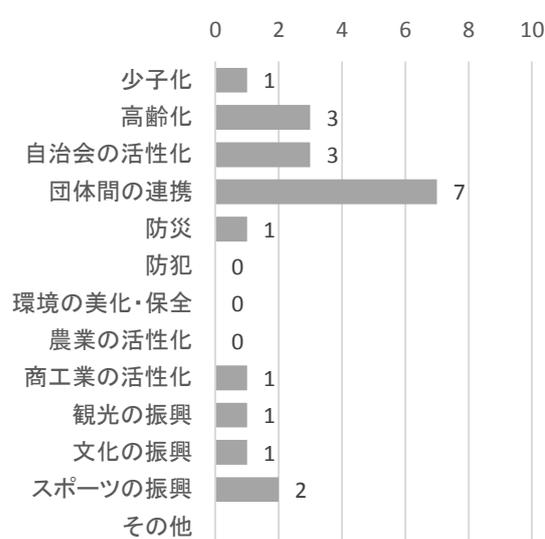


(3) 対話について

「大変よかった」、「よかった」と回答いただいた方が6割を超えました。



(4) 今後、開催を希望するテーマ（複数回答）



「団体間の連携」を希望する方が最も多く、次いで「高齢化」、「自治会の活性化」という結果になりました。

(5) 自由記述

意見・要望等

- 今回のような生活課からの誘いは非常に強い市民活動サポートになるので、今後も継続してもらいたい。
- 自分たちのところだけではなく、他団体のことについても知らなければと感じた。
- 有意義な会と感じた。ぜひ、今日の意見が多く生かされることを望んでいます。
- 交流会の継続を願います。
- 各団体の活動内容をもっと知りたかった。全体的にちょっと話が漠然としていました。
- 他の活動団体の方から、思いがけない提案をいただいて、大変参考になりました。